

1

宮津市の
食の特産品^{とくさんひん}

松葉がに



ぶり



焼きさばずし



いさぎ



とり貝

宮津市の旬の味覚^{しゅん みかく}

宮津市の観光パンフレットに「宮津天橋立^{あまのはしだて}は季節により^{かんこう}美味しい食材が味わえる食の宝^{きせつ}庫^{しょくざい}、なかでも松葉がには、冬の味覚の王様といわれ、花のように美しくお皿にもりつけられるぶりや、夏の高級食材の丹後とり貝^{たんご}などとともに、季節を通して旬の味覚を楽しんでいただけます。」としょうかいされています。そのほか、春には丹後の春をよぶといわれるいさぎ、秋にはすき通るようなすがたをした秋いかななども味わえます。



いかの七輪焼き



白いかのどんぶり

ねり製品ができるまで



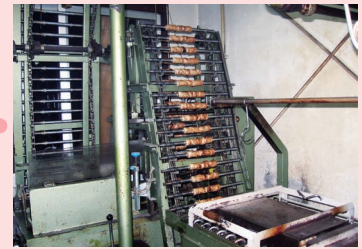
どんな魚を使っているのかな。



①新せんな魚



②機械きがいを使ってまぜる
(すり身をつくる)



③焼く



午前1時ごろからつくり、朝市で売っています。



④完成品かんせい

宮津市の加工食品かこう

宮津市では、新せんで良質りょうしつな魚を使い、昔ながらの製法せいほうでねり製品せいひんのちくわやはんぺん、かまぼこなどがつくられています。

ほかにもオイルサーディンやひものなどは宮津市の観光土産みやげとしても人気があります。



「どんな苦勞くろうやくふうがあるのかな。」



「つくっておられる方の願ねがいを考えてみよう。」

はんぺん 魚のすり身にやまのいもやでんぷんなどを加くわえ、ゆでたり、むしたりしたもの。

オイルサーディン 丹後の海でとれたいわしを綿実油めんじつゆにつけ、食塩しょくえんで味付けしたもの。



ねり製品



オイルサーディン

調べる



ねり製品以外いがいに宮津市の特産物とくさんぶつを原料にした商品しょうひんを調べてみましょう。

けいかん
宮津市の景観を生かした取り組み

宮津市では、^{あまのはしだて}天橋立を中心としたいろいろな取り組みが行われています。1年を通して、たくさんの観光客に来てもらえるくふうをしています。

市の観光をさかんにする取り組みを調べてみましょう。

ぼくもささを
持って帰ったよ。

もんじゅどう
文殊堂十日えびす

新春祈願^{きがん}として毎年1月10日に智恩寺^{ちおんじ}で行われ、商売繁盛^{はんじょう}・学業成就^{じょうじゆ}などを願いに多くの人^{ねが}が参拝^{さんぱい}されます。

たんたん
TANTANロングライド

文珠^{しえいしゅ}にある宮津市営^{みやづしやう}駐車場などをスタート・ゴール地点として、TANTANロングライドが6月に行われます。宮津市^{みやづし}周辺^{へん}や丹後半島^{たんご}、伊根湾^{いねわん}を自転車で走る、30kmコースと100kmコース、200kmコースがあります。大阪府^{おおさか}や兵庫県^{ひょうご}など、他府県^{さんか}からも参加されます。



文殊堂出船祭り

文珠では、7月24日に、文殊堂出船祭りが行われ、たくさんの観光客でにぎわいます。



お盆には、盆おどり大会も行われているね。



宮津燈籠流し花火大会

毎年、8月16日に、宮津燈籠流し花火大会が行われます。



精霊船と紅白燈籠

天橋立ライトアップ

夏の期間中、天橋立のすなはまが幻想的にライトアップされます。



天橋立ツデーウォーク

さまざまなテーマ設定がされたコースで天橋立周辺を散策できるイベントです。二日間にかけて行われます。



やわらび 和火

竹やペットボトル、LEDエーディーなど手づくりのとうろうで、夜の宮津市街地みやづしがいがライトアップされます。城下町じょうかまちとして栄え、今もなお当時のおもかげを残す、寺町てらまちかいわいでのもち歩きイベントです。



しんせきのお姉さんが、「まちなかを散策さんさくすると宮津市街地の歴史文化れきしにふれることができました。」と言っていたよ。

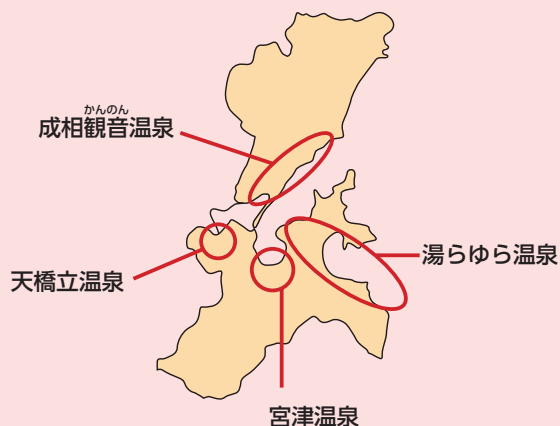
ふゆ花火

冬の観光シーズンかんこうを前に天橋立の阿蘇海上あそかいから花火が打ち上げられます。



おんせん 温泉

天橋立には、冬にもたくさんの観光客がおとずれます。温泉につかり、ゆったりと過ごす人もふえています。



なりあいじ 成相寺のライトアップ・紅葉こうよう

成相寺けいだいの境内や本堂や五重塔ごじゅうのとうなどが紅葉とともにライトアップされます。



ちえ
智恵の湯



📍ビューランドから見た天橋立

世界遺産登録に向けた取り組み

日本国内には、世界遺産に登録されたものが23件あります（2020年現在）。

宮津市では天橋立を世界遺産にしようと、さまざまな取り組みが行われています。

2007（平成19）年12月には、「天橋立を世界遺産にする会」がつけられました。天橋立世界遺産講座を開くなど、天橋立のみりよくや世界遺産登録を目指す取り組みをしようかしています。



「天橋立の世界遺産登録に向けて、いろいろな団体や多くの人たちが取り組みを進めているんだね。」

調べる

世界遺産とは何でしょうか。日本ではどんな場所やものが登録されているのでしょうか。

世界遺産

世界遺産条約によって選ばれた、地球の宝物として世界の人々とともに守っていくべき、大切な文化財や自然のことです。

文化遺産、自然遺産、複合遺産の三つに分けられます。

日本では、姫路城や富士山などが登録されています。



📍世界遺産講座の様子



📍「天橋立を世界遺産に！天橋立の魅力展」の様子

まちづくり・祭り発見

1月



じゃづな
蛇網祭り

2月



ゆら
由良神社 やくよけ祭り

4月



すづ
須津祭り

5月



みやづ
宮津祭り

6月



たわら
田原ほたるまつり

7月



由良ふるさと祭り みかんまき

かいすいよく
海水浴に来た人に由良の冷と
うみかんをまき、食べてもら
うんだって。楽しそうだね。



8月



ぼん
↑宮津の盆おどり



祭りの様子は、地いきによっ
ていろいろだね。ぼくの地区
ではどうだろう。

10月



くんだ
↑栗田祭り

10月



すぎすえ
↑杉末神社の祭礼
はつどひょう
赤ちゃん初土俵入り



地いきで行われる主なイ
ベントや祭りなどについ
て、カレンダーみたいにつ
くれないかな。

10月



やわらび
↑和火

調べる

自分が住む地いきの祭りや
イベントについて調べてみま
しょう。

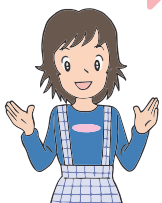
新しい宮津市の すがた

◆わたしたちの宮津市のこれ
からについて考えましょう。



地いきのよいと
ころは何だろう。

このサイトを見ると
宮津市のみりよくを発
見できるよ。



[note、宮津市企画課、「宮津市広報」]

宮津市の目指すしょうらいぞう

これから先10年後も活力ある宮津市にしていくためには、性別や年齢などにかかわらず、宮津市に住む人、宮津市に関わる人一人ひとりが、それぞれの希望におうじた役わりや生きがいをもって活躍し、持続可能で豊かなまちにしていくことが必要です。

このことから、宮津市の目指すしょうらいぞうとして、宮津市に関わる人たち（みんな）がいっしょになってつくりあげる「一人ひとりが主人公として活躍する持続可能な豊かなまち」を目指し、

ともに 創る みんなが活躍する
豊かなまち “みやづ”

をかかっています。

一人ひとりが主人公として活躍する豊かなまちを、宮津市に関わる人たち（みんな）といっしょになってつくりあげられるよう、まちづくりを進めています。

また、宮津市のしょうらいぞうの^{じつげん}実現に向けて、次の五つのテーマでまちづくりを進めています。

- ① ^{ちいきけいざいりょく}地域経済力が高まるまちづくり
- ② 住みたい、住み^{つづ}続けたいまちづくり
- ③ 安全・安心に生活でき、^{かんきょう}環境にやさしいまちづくり
- ④ ^{けんこう}健康でいきいきと幸せに暮^くらせるまちづくり
- ⑤ ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり

わたしたちが大人になったとき、どんなまちになっているのかな。



しょうらいの宮津市について話し合ってみよう

わたしたちはこれまで宮津市のまちの様子やうつり^か変わりを学んできました。自分も宮津市に関わる一人として、これからどんなことができるのでしょうか。話し合ってみましょう。

ぼくたちの住んでいる地^{かだい}いきの課題は何だろう。



ふるさとみやづ学

学んだことを生かして、自分にも何かできることがあるかもしれないね。



👉考えたレシピを発表する様子 小学生が宮津市の新たな特^{とく}産品^{さんひん}を考え、商品化しようと市内の飲食店などに向けてレシピを発表しました。

お店で売られた商品



👉あじのオリーブ^{どん}丼



👉クジラカステラ